



天王

タブレット等の活用をさらに進めます

～導入2年目の取り組み～



1人1台のタブレット端末を使った学習がスタートし、2年目を迎えました。タブレットのほか、音声や動画を出力したり文字を書き込んだりすることのできる電子黒板の活用も進んでいます。

さらに今年度は、県外などの遠隔地と本校をつないで行うリモート講演会や、理科と英語のデジタル教科書を活用した授業にも試験的に取り組んでまいります。

タブレットの持ち帰り

～本格実施は10月中旬から～

タブレットを持ち帰った家庭学習については、7月から段階的に準備を進めており、10月中旬以降は日常的な持ち帰りができる見通しです。

タブレット等を活用した家庭学習では、AIドリルによる反復学習、インターネットを使った調べ学習、動画を利用したデジタル教材の視聴と授業の予習・復習などに取り組むことができます。ただし、タブレット学習と紙（ノート、問題集等）学習には、それぞれメリットとデメリットがありますので、効率的な学習に向けてこれら二つを目的に応じて使い分けることができるよう指導・アドバイスしてまいります。

インターネットを正しく使うために

子どもたちのインターネット利用は、今や学校生活や社会生活を送るうえで「当然のもの・欠くことのできないもの」になっています。一方、インターネットに関わるトラブルは年々増加傾向にあり、インターネットを安全に利用するため、家庭内で基本ルールを話し合うことの必要性が指摘されています。

次の表は、インターネット利用に関する保護者の管理などについての調査結果です（5月、総務省公表のうち一部抜粋）。

家庭内ルール	小高学年	中学生
利用時間帯に関する約束	36.8%	31.8%
情報の取り扱いに関する約束	27.2%	30.1%
トラブル時は必ず相談する約束	26.1%	28.8%
友達の登録は知っている人だけ	30.7%	28.0%
投稿内容に関する約束	18.1%	24.9%

（図表「家庭内でルールを守らせている状況」）

中学生がいる家庭で特に守らせているのは「利用時間帯に関する約束」「情報の取り扱いに関する約束」「トラブル時は必ず相談する約束」でした。小学校高学年に比べ大きく増えたのは「投稿内容に関する約束」でした。SNS利用者が増えることや、親がいるところ以外でも使う機会が増えるためと考えられています。

インターネットの利用について、お子さんと折に触れて話し合い、ルールを確認したりトラブルが生じたときにはすぐに保護者に相談するよう話したりしながら、お子さんがインターネットを安心して使えるようお願いします。

家庭のルールの具体例

- ・名前や顔写真、学校名などは書き込まない。
- ・友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。
- ・利用する場所や時間を決める。
- ・パスワードは親が管理する。
- ・トラブルの時はすぐに保護者に相談する。

栄光の記録

市郡総合体育大会 6月18・19日

【団体】

- 優勝** 卓球男子 柔道男子
準優勝 野球 卓球女子
第3位 サッカー (ファインプレー賞)
 バスケットボール女子 剣道男子

【個人】

- 卓球男子** 1位
 ベスト8
卓球女子 1位
 ベスト8



柔道男子

- | | | |
|--------|----|----|
| 55kg級 | 1位 | |
| 60kg級 | 1位 | 2位 |
| 66kg級 | 1位 | 2位 |
| 73kg級 | 1位 | |
| | 3位 | |
| 81kg級 | 1位 | 2位 |
| 90kg級 | 1位 | |
| 90kg超級 | 1位 | |



柔道女子

- 70kg級 2位

剣道男子

- ベスト8

陸上競技

- | | | |
|------------|----|---------|
| 男子共通 200m | 3位 | 26.4秒 |
| 男子共通 800m | 3位 | 2.19.7秒 |
| 男子2年 100m | 1位 | 12.7秒 |
| 男子2年 100m | 2位 | 12.9秒 |
| 女子共通 100mH | 2位 | 17.7秒 |
| 女子共通 100m | 2位 | 14.9秒 |

ゴルフ

- 1位 89 (44、45)

天中生 ダンス・珠算でも大活躍

第9回秋田ストリートダンスコンテスト
 ～11-16 中学生部門
 優勝 (SWING FOOT)

カダーレダンスフェスティバル2022
 ストリートダンスコンテスト
 ジャッジ賞 P I n O
 (K G C Underground)

第55回秋田県珠算競技大会
 兼東北7県珠算競技大会選抜予選 (第三部)

- 個人総合 2位
- 読上算 優勝
- フラッシュ暗算 2位

7月の行事予定

- 1日 (金) 松陵学習④
- 3日 (日) 部活動休止日
- 4日 (月) 3年実力テスト②
- 5日 (火) 市教育委員会訪問 情報モラル講座
- 6日 (水) 天中祭頑張ろう集会
 東湖八坂神社祭典 (～7日)
- 7日 (木) 県総体激励会 吹奏楽部壮行演奏会
- 8日 (金) 松陵学習⑤
- 10日 (日) 吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会
- 12日 (火) 天中祭部門打合せ
- 13日 (水) チャレンジテスト (①社②数③理)
- 14日 (木) 職員会議 部活動休止日
- 15日 (金) 松陵学習⑥
- 16日 (土) 県総合体育大会 (～18日)
- 17日 (日) 部活動休止日
- 18日 (月) 海の日
- 19日 (火)
- 20日 (水) 中央教育事務所教科等訪問 部活動休止日
- 21日 (木) 月曜授業
- 22日 (金) 県中総体報告会 東北・全国大会激励会
 レイリーお別れ会 夏休み前全校集会
- 23日 (土) 夏季休業 (～8/23日)
- 25日 (月) 三者面談 (～29日)
- 31日 (日) 部活動休止日

選手のために何ができるか ～応援団として支える道～

市郡総体に向け、応援団の募集が行われ、1年生14名、2年生47名、3年生3名、計64名の生徒が名乗りをあげました。文化部やクラブチーム等に所属している3年生を中心に、早朝から体育館でエールや三三七拍子などの声出しや振り付け、大太鼓の打ち込みの練習に約8日間、真剣に取り組みました。本番となった激励会では、一つ一つのチームが決意表明とパフォーマンスを終えるごとに応援タイムが設定され、応援団のリードの下、全校生徒が心を一つにして力の限り声を出し、各チームの市郡総体での健闘を祈念しました。激励会の最後には、全校生徒が一体となるパフォーマンスも見られ、天中生の行事に向かう熱さを再認識させられました。



力強いエール



応援団長の三三七拍子



太鼓一打で緊張感UP

ウクライナのために何ができるか ～缶バッジ制作という選択～

潟上市国際交流協会 「ウクライナの子どもたちへの支援協力」を目的とした、缶バッジのデザイン制作の依頼があり、本校美術部員22名が、その活動に取り組んでいます。6月には、国際交流協会の方と本校2年生ボランティアも、デザイン画を制作し、合わせて約40枚のデザイン画が完成しました。ウクライナの子どもたちへの励ましといたわりの思い、平和への願いが詰まったこれらの缶バッジ。限定240個ですが、ウクライナへの募金に協力してくださった方々に差し上げます。是非募金へのご協力をお願いします。

当日は、国際交流協会の方々と本校美術部員有志で募金を行います。

日時 7月23日 (土) 10:00～
 会場 天王グリーンランド食采館前